

東京湾産魚介類の化学物質汚染実態調査 調査対象魚種の変更（案）について

1 課題

現在、温暖化による水温上昇、夏季の貧酸素化等により、東京湾内の魚介類の生息状況が変化し、現状の魚種・採取地点で検体を確保することが難しくなっている。

特に、マコガレイについては、令和3年度から3年間連続でいずれの採取地点でも採取ができず、欠測となっている。

マコガレイ : 水深が100mよりも浅い砂泥底の海底に生息する。
東京湾では、夏期には湾奥部での生息量は少ないが、逆に溶存酸素量の回復する冬期は湾奥部での生息量は多くなる。
千葉県が実施した資源評価では、東京湾マコガレイの漁獲量は、長期的に減少傾向にあるとされている。

2 聞き取り調査

令和6年8月、東京都漁業協同組合連合会（以下「東京都漁連」という。）に東京湾でのマコガレイ等の漁獲状況等について聞き取り調査を実施したところ、東京都漁連の担当者から、以下の説明があった。

- ・ マコガレイについては、25年ぐらい前はかなりの取扱量はあったが、最近は、時々まとまった量で入荷がある程度である。
- ・ 近年、東京湾で漁獲量が多い魚種としては「コチ」、「クロダイ」、「キビレ」、「タチウオ」、「カマス」があげられる。

3 対応案

本調査は、東京湾で漁獲される魚介類のうち、魚介類の生態や漁獲量等を踏まえ魚種を選定し、都民の化学物質摂取量を調査することを目的としている。そこで、できるだけ欠測とせずに調査ができるよう、今後も採取が難しいマコガレイから別の魚種に変更する。なお、調査対象魚(案)は以下のとおり。

●案1 コチ（マゴチ）

（理由） 東京都漁連のデータでは毎年度取扱いがあり、近年の取扱量は100 kg以上と安定的な採取が見込まれる。また、生息域は海底で、食性も肉食性とマコガレイに比較的近い。また、ダイオキシン類が蓄積される脂質の量もマコガレイと同様に低い。

●案2 クロダイ

（理由） 東京都漁連のデータでは毎年度取扱いがあり、最も取扱量が多い。また、通年で採取が可能であるため、データの欠測が起りにくいと推測される。

一方、生息域、食性もマコガレイと異なり、ダイオキシン類が蓄積される脂質の量も高い(すでに調査対象魚種となっているボラに近い傾向にある)。

表1 東京湾で近年漁獲量が多い魚種

魚種	【参考】マコガレイ	コチ(マゴチ)	クロダイ
			
分類	カレイ目カレイ科マガレイ属	スズキ目コチ科コチ属	スズキ目タイ科クロダイ属
生息域	水深 100m より浅い砂泥底	水深 30m より浅い砂泥底	水深 50m よりも浅い海中
食性	肉食性 (ゴカイ類、二枚貝、甲殻類などの底生動物)	肉食性 (甲殻類、タコ・イカ類、小魚など)	雑食性 (小魚、甲殻類、貝類、ゴカイ類、海藻類など)
採取時期	1 月	6 月～8 月	通年
令和 5 年度 取扱量 ^{※1}	25.0 kg	541.9 kg	387.8kg
脂質量 ^{※2}	1.8g	0.5g	6.7g

魚種	キビレ (キチヌ)	タチウオ	カマス
			
分類	スズキ目タイ科クロダイ属	スズキ目タチウオ科タチウオ属	スズキ目カマス科カマス属
生息域	水深 50m よりも浅い沿岸岩礁域	夜間は深所の砂泥底に潜み、日中は上方に浮上	水面近くから海底付近まで幅広い層を回遊
食性	肉食性 (貝類、ゴカイ類、甲殻類)	肉食性 (イワシ、イカナゴ、イカなど)	肉食性 (小魚、甲殻類)
採取時期	5 月～8 月	10 月～11 月	8 月～10 月
令和 5 年度 取扱量 ^{※1}	270.4kg	89.4kg	51.0 kg
脂質量 ^{※2}	データなし	20.9g	7.2g

【参考】 その他の調査対象魚種

魚種	スズキ	ボラ	マアナゴ
			
分類	スズキ目スズキ科スズキ属	ボラ目ボラ科ボラ属	ウナギ目アナゴ科クロアナゴ属
生息域	沿岸の岩礁や内湾	沿岸から河口、淡水域	砂泥底や藻場
食性	肉食性 (甲殻類、魚類)	雑食性 (海底の小動物や有機物、藻類を泥と一緒に捕食)	肉食性 (小魚、甲殻類、ゴカイ類など)
採取時期	夏頃	8 月～2 月	6 月、1 月
令和 5 年度 取扱量 ^{※1}	2049.4kg	8.1kg	0 kg
脂質量 ^{※2}	4.2g	5.0g	9.3g

※1 東京都漁連から提供されたデータより集計

※2 日本食品標準成分表 (八訂) 増補より：可食部 100g あたり

表2 東京都漁連での取扱量の推移（平成27年度～令和5年度）

(kg)

年度	マコガレイ	コチ	クロダイ	キビレ	タチウオ	カマス
平成27年度	0	11.2	13.3	0	0	0
平成28年度	15.4	13.6	87.1	0	0	0
平成29年度	0	17.3	51.6	0	0	0
平成30年度	0	29.1	17.6	0	1.5	49.7
平成31年度	0	95.3	355.7	0	124.2	511.3
令和2年度	379.9	162.8	987.8	123.9	750.7	26.0
令和3年度	0.1	497.4	468.7	53.7	77.6	2.6
令和4年度	135.9	395.8	1145.5	94.7	382.6	387.2
令和5年度	25.0	541.9	387.8	270.4	89.4	51.0